事務事業及び予算の執行実績
（令和６年度分）

（一部、令和７年度分を含む）

静岡県立富士宮西高等学校

目　　次

1	事務事業の概要	1
2	事務執行の根拠法令調	16
3	学校施設の概要	17
4	在籍生徒調	18
5	入学志願者及び入学者数調	19
6	卒業生の動向調	20
7	生徒の状況	21
8	授業料収納状況調	22
9	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	24
10	預金調	25
11	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	26
12	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	27
13	委託料に関する調	28
14	負担金支出調	30
15	建築工事調	31
16	公有財産調	33
17	借地借家等調	34
18	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	36
19	行政財産貸付・使用許可調	37
20	主要備品調	38
21	職員調	39
22	職員の年齢調	41
23	健康管理	42

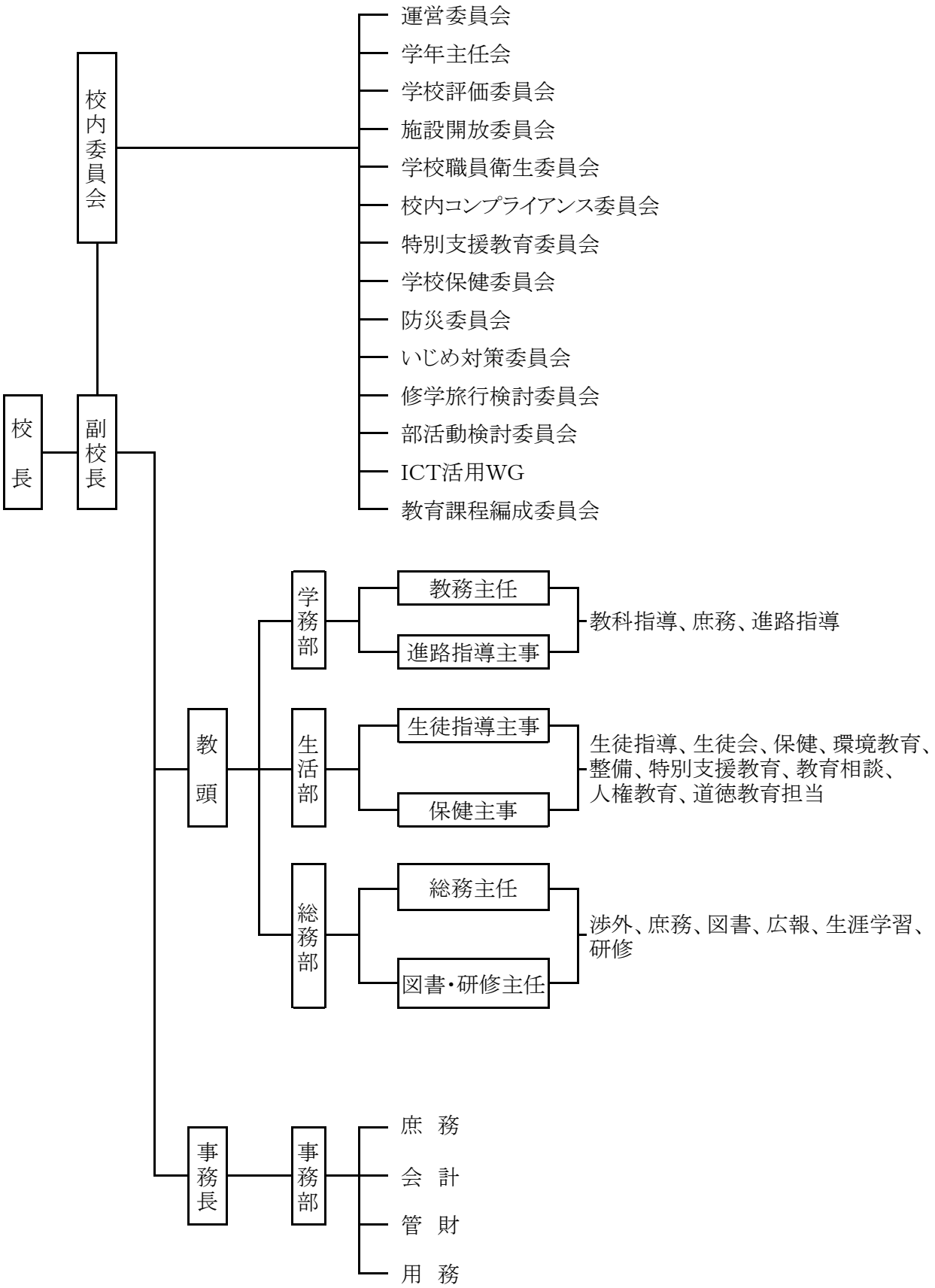
事務事業の概要

１　概　況

（１）学校の沿革

昭和54年12月19日	静岡県教育委員会は「第２次生徒急増期の高等学校整備計画」に基づき、富士・富士宮学区に高等学校新設を発表
昭和55年８月22日	富士宮市淀師地内に校舎第１期工事着工
12月12日	校名を静岡県立富士宮西高等学校と決定
12月19日	昭和56年度入学者定員２７０人（６学級）
昭和56年３月25日	校舎第１期工事竣工
４月７日	開校式挙行
昭和57年２月20日	校舎第２期工事竣工
５月13日	校旗・校歌制定
12月７日	昭和58年度入学者定員３６０人（８学級）
昭和58年３月15日	校舎第３期工事竣工
６月４日	校舎落成記念式典挙行
昭和59年３月１日	第１回　卒業証書授与式挙行
12月20日	昭和60年度入学者定員４０５人（９学級）
昭和60年12月19日	昭和61年度入学者定員４５０人（１０学級）
昭和61年６月３日	校訓制定
平成２年10月27日	創立10周年記念式典挙行
11月20日	平成３年度入学者定員４０５人（９学級）
平成４年11月17日	平成５年度入学者定員４３０人（１０学級）
平成５年11月25日	平成６年度入学者定員４２０人（１０学級）
平成６年９月27日	聳湧館（生活館）竣工（後援会）
11月16日	平成７年度入学者定員４１０人（１０学級）
平成７年９月６日	聳湧館（生活館）県へ移管
11月８日	平成８年度入学者定員４００人（１０学級）
平成８年11月18日	平成９年度入学者定員３６０人（９学級）
平成９年11月10日	平成10年度入学者定員４００人（１０学級）
平成10年11月17日	平成11年度入学者定員３６０人（９学級）
平成12年11月７日	創立20周年記念式典挙行
平成13年11月14日	平成14年度入学者定員３２０人（８学級）
平成16年11月27日	平成17年度入学者定員２８０人（７学級）
平成18年１月31日	体育館耐震補強工事竣工
平成19年11月20日	平成20年度入学者定員２４０人（６学級）
平成20年11月18日	平成21年度入学者定員２８０人（７学級）
平成22年９月29日	創立30周年記念式典挙行
平成22年11月５日	平成23年度入学者定員２４０人（６学級）
平成29年11月６日	平成30年度入学者定員２００人（５学級）
令和２年11月10日	令和３年度入学者定員１６０人（４学級）
令和２年12月22日	創立40周年記念式典挙行

（2）　組 織 図


校内委員会
運営委員会
学年主任会
学校評価委員会
施設開放委員会
学校職員衛生委員会
校内コンプライアンス委員会
特別支援教育委員会
学校保健委員会
防災委員会
いじめ対策委員会
修学旅行検討委員会
部活動検討委員会
ICT活用WG
教育課程編成委員会
校長
副校長
教頭
学務部
教務主任
進路指導主事
教科指導、庶務、進路指導
生活部
生徒指導主事
保健主事
生徒指導、生徒会、保健、環境教育、整備、特別支援教育、教育相談、人権教育、道徳教育担当
総務部
総務主任
図書・研修主任
渉外、庶務、図書、広報、生涯学習、研修
事務長
事務部
庶　務
会　計
管　財
用　務

2　目指す学校像

（1） スクール・ミッション

富士宮市を代表する全日制普通科高校として、卒業後は大学等への進学によるさらなる高みを臨む生徒に対し、伝統ある校訓「志尚～知を求め 他を思いやり 躍進せよ～」を令和時代に合わせて読み解き、「自分で考え、主体的に行動する力（＝Agency）」と「多様な価値観を理解し、課題を多面的に見る力（＝Diversity of perspectives）」を培う教育を推進することで、将来地域のリーダーとして活躍し、世界に向けて富士・富士宮を発信できる人材の育成を目指す。

（2） 目指す学校像

ア　スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
富士宮西高校では、将来地域リーダーとして活躍する人を目指し、このような力を育てます。(1) 自分で考え、主体的に行動する力 (2) 多様な価値観を理解し、課題を多面的に見る力 (3) 郷土を理解し、世界に富士・富士宮を発信できる力	本校のグラデュエーション・ポリシーに向けて、このような学びを展開します。(1) 生徒の知的好奇心に応え、主体性と探究心を尊重する。(2) 知・徳・体及び感性をバランスよく育み、豊かな人間性を培う。(3) 自己肯定感と社会課題への関心を高める。	本校での学びに向き合うために、このような資質を持った人を受け入れます。(1) 知的好奇心があり、目的意識を持って学習に臨むことができる人 (2) 思いやり深く、協調性が高い人 (3) 地域や社会への関心が高く、何事にも積極的に取り組む人

イ　スクール・ポリシー具現化の柱

(ｱ) 知・徳・体及び感性をバランス良く持った生徒を育成する。
(ｲ) 目的意識を持った自立した学習者を育成する。
(ｳ) キャリア教育を推進し、主体的に将来設計を行うことができる生徒を育成する。
(ｴ) 部活動・特別活動等を通して、豊かな人間性を持つ生徒を育成する。
(ｵ) 保護者・地域等から信頼される教育環境を整備する。

3　監査対象期間の年度別学校経営の取組等

（1） 令和６年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	心身の調和がとれた生徒が育つ	「服装・頭髪・時間厳守など学校生活の規律・秩序は保たれている」と答える生徒90%以上。	97.2% (R5 94.6%)	A	【生活部】 生徒が持っている規範意識の高さから良好な状態が保たれている。今後も、職員一丸となって生徒指導を実施していきたい。
		「学校生活のルールや日常生活のマナー等の指導が適切に行われている。」と答える保護者90%以上。	93.9% (R5 95.3%)	A	【生活部】 生徒指導については、職員の協力があり概ね実施状況は良い。今後は、授業での生徒指導の充実が必須である。
		投票に行った生徒55%以上。	76.8% (R5 47.8%)	A	【学務部】 ３年生の投票権を持つ生徒は 80 人、うち 63 人が投票に行った。日程と主権者教育の効果だと思われる。今年度も２年生を対象に主権者教育を実施した。
		授業等で情報モラルに関する指導をする。		A	【学務部】 情報の授業を中心に情報モラルについて指導をすることができた。

		「校内の環境美化・衛生管理や健康に関する指導に取り組んでいる」と答える保護者85%以上。	88.8% (R5 91.0%)	A	【生活部】 日常の校内清掃活動が良好に実施されている。内外清掃についても、生徒は意欲的に活動している。 今後も生徒、職員で校内美化・衛生管理に努めたい。
		「子どもは、明るく楽しく学校生活を送っている」と答える保護者90%以上。	94.4% (R5 95.9%)	A	【生活部】 生徒の活気がある中で学校生活が営まれている。また、教育相談が必要な生徒に対しては迅速に対応している。
		「学校は、子どもに関する悩みの相談に応じてくれる」と答える保護者80%以上。	80.6% (R5 84.5%)	A	【生活部】 職員は、生徒の相談事に対して真摯に向き合う姿勢で対応できている。今後も継続していきたい。
		いじめ重大事案ゼロを目指す。		A	【生活部】 重大事案はゼロであった。
		特別支援委員会を必要に応じて開催する。		A	【生活部】 特別支援コーディネーターを中心として適宜開催し、情報共有に努めている。必要に応じて外部機関（SSW、児相、病院等）とも連携することができた。
		「学校からの連絡・情報は家庭に伝わっている」と答える保護者85%以上。	82.8% (R5 87.5%)	B	【１年部】おおむね伝わっている。 【２年部】おおむね良好であるといえるが、アンケートに「classiなどで学校から連絡が欲しい」という要望がある。手帳などを利用しながら、生徒たちが関わるような連絡（英検など）は生徒が自ら伝えられるような工夫を考えていく必要がある。 【３年部】的確に伝わっている。
イ	一人ひとりの学力が向上する	「授業に対し、おおむね充実して取り組めている」と答える生徒90%以上。	96.5% (R5 94.6%)	A	【学務部】 目標を達成できた。引き続き授業改善を図り、授業で生徒の実力養成を図る。
		「話し合い等、主体的、能動的に活動する場を設けている授業である」と答える生徒90%以上。	92.5% (R5 89.0%)	A	【学務部】 目標を達成できた。次年度は授業改善に全校を上げて取り組み、授業で生徒の力を引き出すことができるよう研修を重ねていく。
		年間３回以上の授業参観を行う教員が90%以上。	92.6% (R5 96.3%)	A	【総務部】 公開授業週間を中心に、他教科も含めて授業参観への呼び掛けを行った。

		「学習しやすい環境にある」と答える生徒85%以上。	94.5% (R5 88.5%)	A	【学務部】 学習に向かう意識が高く、学習に取り組みやすい集団だと生徒は評価しているようだ。また学習室や職員室前自習机など、生徒も普段から有効活用している。
		学期に１回以上、一人一台端末の活用についての研修や情報提供を行う。		A	【学務部・総務部】 ICT 教育 WG と協力して４月にロイロノート、Classi の活用講座、10月に生成 AI 活用講座を実施、２月に学務部主催の Classi 研修会を行う。その他 ICTWG より、職員会議や朝の打ち合わせで情報提供を行った。
		「先生方は、質問や相談に丁寧に応じてくれる」と答える生徒 90%以上。	97.0% (R5 92.1%)	A	【学務部】 目標を達成できた。今後も個別指導を大切にし、引き続き満足度を高めていく。
		「補講、勉強会、個別進路指導は生徒一人ひとりの目標達成に役立っていると答える保護者 80%以上。	83.3% (R5 82.5%)	A	【学務部】 先生方のご尽力で、十分な成果を上げていると考える。同時に補講等については検討を重ね、次年度から新しい体制でスタートする。土曜補講は Classi の学習支援ツールの活用も合わせ、模試対策に焦点を絞る予定である。
		学力に関する検討会を学期に１回以上実施。	学力検討会 １年　１回 ２年　１回 模試分析会 全学年 17 回 進路検討会 ３年４回		【学務部・学年】 ３年生に関しては、年間４回の進路検討会を実施している。 １・２年に関しては、年度初めのスタサポ分析会を実施した。また、学期末の成績会議も学力を検討する機会となっている。 【３年部】総合型選抜検討会、私大検討会、国公立検討会、模試ごとの分析等時期も内容も充実した内容であった。
		家庭での生活実態調査を年３回以上実施する。	生活実態調査 ３回	A	【学務部】 ６月、11 月に調査を全学年で実施。３月にはスタディサポートで学習・生活状況を把握。 【１年部】11 月の学習調査では、学習時間の短さが指摘された。未入力の生徒も多く正確な学習時間を調査することができなかった。家庭学習を習慣化させるためにも学習時間の量や記録などは学年で検討していきたい。 【２年部】６月と比べ学習時間は増加している。昨年度と比較すると時間は減少しているが、模試結果からみると学力が落ちているというわけではないた

					め、学習内容が精選されていると考えられる。とはいえ、学習時間が全般的に少ないことは事実であるため、手帳を使いながら計画的に学習をするように促したい
		各学年で計画的に家庭学習をするように指導する。		B	【１年部】Classi による学習時間が未入力のものが多く、継続して入力させたい。定期試験や模試については目標・振り返りシートを実施した。 【２年部】家庭において、手帳に学習する時間を記入する生徒が60%を超えており、自分の生活リズムを把握して生活できている生徒も 45%いる。クラスによって手帳の使い方がまちまちではあるので、もう少し徹底していけると良い。 【３年部】classi を通じて生徒に的確に指導できた。
ウ	一人ひとりの進路目標が実現する	学務部及び「総合的な探究の時間」担当者で学期に１回以上情報共有及び検討する。	年間 10 回程度	A	【学務部】 分掌の枠を超えた小委員会を開催し、評価方法も含め、３年間の探究プログラムを設定することができた。次年度は探究を担当する組織づくりを進めたい。
		１・２年生の生徒全員が年に１回以上学習成果を発表する。	月に１回以上 (R5 ３回)	A	【学務部】 探究の授業内で月に１回を目安に実施した。文化祭では代表者による発表、校外では県教委主催の探究フェスタ等に参加した。次年度も生徒が「挑戦力」を発揮できる場を効果的に設定したい。
		平均年間読書冊数９冊以上。	7.7 冊 (R5 11.3 冊)	B	【総務部】ビブリオバトルで本に興味を持つようになったと答える生徒の割合は 67.6%であったが、平均読書冊数は昨年から４冊以上減少した。年間読書数が５冊以下の生徒が 15%増加したためだと考える。図書室の利用者は３％ほど増加したが、広報活動の見直しが必要である。
		生徒全員がビブリオバトルに参加する。	３回 (R5 ３回)	A	【総務部】各学年で３回ビブリオバトルを行い、生徒全員が発表を行った。３年生の学年チャンプ本決定戦は文化祭の校内発表で行い、全校生徒が参加した。
		20%以上の生徒が年１回以上社会貢献活動・ボランティア活動に携わる。	23.3% (R5 21.8%)	A	【学務部・生活部】 個人で参加している生徒だけでなく、富士山女子駅伝等でのボランティアなど、多くの部活動で社会貢献活動を行っている。

		企業・自治体・ＮＰＯ等、地域との連携３件以上、地域人材等との連携５人以上。	地域との連携５件以上	B	【学務部】 探究活動のフィールドワークで市役所や各企業と連携することができた。継続的に連携し探究を進めている班も多い。
		国公立大学及び難関私立大学合格者 35％以上。	合格者 46 人/159 人=28.9%	B	【学務部・学年】 学校推薦型選抜・総合型選抜で成果をあげている。一般選抜でも第一希望を目指して最後まで頑張りぬいた生徒が多く、京都大学、神戸大学等上位大学の合格を果たした。
		英検２級合格者 35 人以上。	第１～３回計 受検者 157 人 合格者 53 人	A	【英語科】 合格者は目標数値を大きく上回ることができた。授業内での帯活動や、２次対策の個別指導を実施し成果を上げた。英語学習の目標の一つとして、今後も継続していく。
		「適性・進路などに応じて選べる類型や選択科目がある」と答える生徒 90%以上。	94.5% (R5 93.1%)	A	【学務部】 生徒の実態に合わせ、令和７年度以降の理科の科目変更を行った。今後も必要に応じ教育課程の見直しを検討していく。
		「進路指導は、進路選択に役立つものになっている」と答える生徒 85%以上。	94.5% (R5 88.5%)	A	【学務部】 学年集会・クラス指導および個別の面談が生徒の力になっている様子がうかがえる。
		「進路行事や担任による個別面談等、進路指導は適切かつ効果的に行われている」と答える保護者 80%以上。	80.2% (R5 81.6%)	A	【学務部】 放課後や昼休みなどを利用した担任や副担任による面談が活発に行われている。前年より微減しているが、概ね、保護者の期待に応えていると思われる。
エ	活力にあふれ、魅力ある学校になる	「学校行事に満足している」と答える生徒 85%以上。 「子どもは、学校行事に意欲的に参加している」と答える保護者 90%以上。	97.0% (R5 89.0%) 96.5% (R5 95.3%)	A	【生活部】 学校行事等に対しての生徒の反応は非常に良い状態が続いている。生徒主体の学校行事展開を今後も促進していく。生徒が「楽しい」「やってよかった」と感じる行事を実施していきたい。
		「部活動への参加により、学校生活を充実させることができている。」と答える生徒 80%以上。	90.2% (R5 83.4%)	A	【生活部】 生徒の活動意欲と、職員の献身的な活動支援により充実した部活動が実施されている。今後も継続していきたい。

		【広報】 ・HPだけでなくSNSにおける情報発信の体制を確立する。 ・最新の情報を更新する。		A	【総務部】 ・学校公式インスタグラムでは学校生活全般についての情報発信を行った。４月の運用開始から12月末までの間に209回の投稿を行い、フォロワー数は1000人を超えた。 ・HPのフォーマットを一新し、新HPを立ち上げた。各部活動のページから活動報告の記事をリンクで飛ぶよう設定して見易くし、また公式SNSへの誘導を簡潔にわかりやすくした。
オ	安心・安全な学校になる	地域防災訓練参加率65%以上。 校内防災訓練２回。	42.9% (R5 26.0%)	B	【総務部】 ・参加意思なしと部活動による不参加者が約半数を占めた。 ・校内防災訓練は計画した２回とも天候不順により縮小した形で実施した。 ・富士山噴火想定の訓練を取り入れることなどにより、地域防災に対する意識や求められている役割への認識を高めることが必要である。
		年に１回以上安全教育に関する授業を「安全教育計画」に示された教科で行う。		A	【総務部・教頭】 ４月に交通安全教室を開催した。各教科の授業で交通安全、災害安全、生活安全に関する授業を行った。防災訓練における教頭講話や生徒指導主事からの指導と共に安全教育を更に進めていきたい。
		教職員の不祥事件数ゼロ。		B	・個人情報の取り扱いで県教委報告事案が１件あった。全職員で共有し、自分事として捉える貴重な機会とした。 ・不祥事根絶取組計画に基づき、毎月職員会議時に研修を実施した。10月～12月の「私のコンプライアンス」では９人の職員に経験等を語ってもらい好評であった。

		「教育環境の面から見て、施設・設備は整備されている」と答える保護者80%以上。 監査及び会計・物品事務指導検査における指摘件数ゼロ。	76.1% (R5 86.0%)	B	【事務室】 ・技能員による校内低樹木の整備を計画的に実施した。施設担当と技能員が連携し、安全点検と補修等の対応を迅速に行った。図書室の空調設備の更新とキュービクル内の設備の更新が進んだ。 ・静岡県の条例、規則に基づいた適正な事務処理を行った。
		分掌組織のスリム化及び業務を見直し、業務の平準化を行う。		B	【全分掌】 ３部制となり２年目の今年度は、部内での協働体制がより充実してきた。例えば学務部では、教務班と進路班の協働により、要録・調査書作成マニュアルをまとめることができ、担任の業務改善に大きく貢献した。まだ協働が十分でない部もあり、次年度への課題である。

（２） 令和７年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	知・徳・体及び感性をバランス良く持った生徒を育成する。	【規範意識】 ・教職員の生徒への声かけ、生徒会活動等を通して、あいさつの励行、時間を守り、端正な服装を指導する。 ・人権教育を推進し、人権を尊重する態度を育てる。 ・社会に興味・関心をもたせ、主権者としての自覚を持つことを促す。 ・情報モラルを育成する。 ・校内外の清掃・美化活動を徹底する。	・「服装・頭髪・時間厳守など学校生活の規律・秩序は保たれている」と答える生徒90%以上。 ・「学校生活のルールや日常生活のマナー等の指導が適切に行われている。」と答える保護者90％以上。 ・投票に行った生徒55%以上。 ・授業等で情報モラルに関する指導をする。 ・「校内の環境美化・衛生管理や健康に関する指導に取り組んでいる」と答える保護者85%以上。	学務部 生活部
		【教育相談】 ・学年主任者会を定期的に開催し、生徒指導・生徒支援の充実を図る。 ・いじめや特別な支援を必要とする生徒に対して、必要な情報の共有を行って全教職員で対応する。 ・外部人材を活用し、カウンセリング体制を強化する。	・「子どもは、明るく楽しく学校生活を送っている」と答える保護者90%以上。 ・「学校は、子どもに関する悩みの相談に応じてくれる」と答える保護者80%以上。 ・いじめ重大事案ゼロを目指す。	生活部
		【保護者との連携】 ・生徒個々の問題に対しては情報や認識をそれぞれの家庭と共有し対応する。	・「学校からの連絡・情報は家庭に伝わっている」と答える保護者85%以上。	学年
イ	**目的意識を持った**	【授業】 ・５つの力を発揮することを意図した学習過程を授業に取り入れる。	・５つの力を発揮する授業研究を行った教員100%。 ・「授業に対し、おおむね充実して	学務部 総務部

	自立した学習者を育成する。	・校内研修や授業評価を行う。 ・各教科の課題の与え方を工夫する。 ・生徒一人一台端末を効果的に活用した授業展開をする。	取り組めている」と答える生徒90%以上。 ・「話し合い等、主体的、能動的に活動する場を設けている授業である」と答える生徒90%以上。 ・「学習しやすい環境にある」と答える生徒85%以上。 ・学期に１回以上、一人一台端末の活用についての研修や情報提供を行う。	
		【個に応じた指導】 ・学習に困難を感じる生徒に対して丁寧な指導を行う。 ・生徒の学力を効果的に向上できるよう補講等の内容と方法を工夫する。	・「先生方は、質問や相談に丁寧に応じてくれる」と答える生徒90%以上。 ・「補講、勉強会、個別進路指導は生徒一人ひとりの目標達成に役立っていると答える保護者80%以上。	学務部
		【現状分析】 ・「高校生のための学びの基礎診断」の測定ツール等の結果を分析し、生徒の学力を把握する。 ・家庭での生活時間調査により生徒個々の家庭学習の状況を把握する。	・学力に関する検討会を学期に１回以上実施。 ・家庭での生活実態調査を年３回以上実施する。 ・各学年で計画的に家庭学習をするように指導する。	学務部 学年
ウ	キャリア教育を推進し、主体的に将来設計を行うことができる生徒を育成する。	【総合的な探究の時間】 ・探究学習を組織的に推進する。 ・地域の各主体と連携するとともに地域の教育資源を活用する。	・学務部を中心として月に１回以上情報共有及び検討する。 ・１・２年生の生徒全員が年に１回以上学習成果を発表する。 ・企業・自治体・ＮＰＯ等、地域との連携３件以上、地域人材等との連携５人以上。	学務部
		【地域貢献・連携】 ・社会力と社会性の向上を図るため、社会貢献活動・ボランティア活動を推進する。	・生徒が年１回以上社会貢献活動・ボランティア活動に参加する。 ・地域防災訓練参加率65%以上。	学務部 生活部 総務部
		【読書指導】 ・文化・教養力を高めるため、朝読書、ビブリオバトルを実施する。	・平均年間読書冊数９冊以上。 ・生徒全員がビブリオバトルに参加する。	総務部
		【進路指導】 ・国公立大学及び難関私立大学合格率の一定水準を維持する。 ・資格試験・検定試験に関する指導を充実するとともに、生徒の能力・可能性を十分に引き出し、受験・合格することにより進路選択の幅の拡大を図る。 ・大学・専門学校等に関する情報収集及びその対策に取り組む。	・国公立大学及び難関私立大学合格者35%以上。 ・英検２級合格者35人以上。 ・「適性・進路などに応じて選べる類型や選択科目がある」と答える生徒90%以上。 ・「進路指導は、進路選択に役立つものになっている」と答える生徒85%以上。 ・「進路行事や担任による個別面談等、進路指導は適切かつ効果的に行われている」と答える保護者80%以上。	学務部 学年
エ	部活動・特別活動等を通し	【学校行事】 ・学校行事を通して、生徒の主体性を育む。	・「学校行事に満足している」と答える生徒85%以上。 ・「子どもは、学校行事に意欲的に参加している」と答える保護者	学務部

	て、豊かな人間性を持つ生徒を育成する。		90%以上。	
		【部活動】 ・生徒の活動状況を把握し、適切な指導・支援を行うとともに、活動の効率化を重視して学習との両立ができるよう配慮する。 ・外部指導者の活用を図る。	・「部活動への参加により、学校生活を充実させることができている。」と答える生徒80%以上。	生活部
		【広報】 ・中学生に対し、本校の教育活動について積極的に発信する。	・HPだけでなくSNSにおける情報発信の体制を確立する。 ・最新の情報を更新する。	総務部 学務部
		【安全教育】 ・各教科において、「安全教育計画」に従って指導する。	・年に１回以上安全教育に関する授業を「安全教育計画」に示された教科で行う。	生活部
		【不祥事根絶】 ・教職員の不祥事根絶意識を高めるコンプライアンス研修を行う。	・教職員の不祥事件数ゼロ。	全職員
		【施設・設備】 ・安全点検の徹底及び不備箇所の早期改修を図る。	・「教育環境の面から見て、施設・設備は整備されている」と答える保護者80%以上。	事務室
		【会計処理・物品管理】 ・適正な財務会計処理及び物品管理を行う。	・監査及び会計・物品事務指導検査における指摘件数ゼロ。	事務室
		【業務改善】 ・業務改善を行い、教職員の多忙化解消を図る。	・部活動のあり方を検討する。 ・分掌組織のスリム化及び業務を見直し、業務の平準化を行う。	全職員

４　監査対象期間における特色ある取組

６年度	特進クラスの充実 ７年目となる特進クラスは毎年確実に進学実績を上げている。その一方で、その在り方について再検討をする時期がきている。 個別指導体制の充実 生徒の希望進路に応じたきめ細かな指導を実施した。合わせて教員減に対応した持続可能な体制を検討した。	・１年生は地元国公立大学を訪問し、高等教育機関に対する理解を深めた。 ・２年生の大学訪問は、より個別に対応できる方法で実施した。「夢ナビプログラム」を活用した事前学習を充実させ、各自でオープンキャンパスに参加した。事後には各自の体験をもとに ICT を活用したプレゼンテーションに取り組んだ。一連の活動を探究活動として取り組み、深化を図ることができた。 ・面接週間を設定することで、担任の個別指導の時間を確保することができた。大学入試の個別指導は全教員で分担し対応した。 ・完全下校時間を設定し、学校外でも主体的に学習に取り組む意識の向上を目指した。部活動との兼ね合いがあり、徹底が難しいが、次年度も継続した取組が重要である。

		・土曜日や長期休業中の補講や学習合宿について検討をした。回数を減らし、自分で計画的に学習に向かう「自立した学習者」の育成を引き続き目指していく。
	総合的な探究の時間の充実 これまでの取組を総括し、本校独自の探究を検討した。	・これまで県の事業で取り組んできた地域探究など、ここ数年の取組を総括し、３年間計画を完成した。 ・「宮西５つの力」を元にルーブリックを完成し、キャリアパスポート（生徒による自己評価のシステム）を整えた。
	広報業務の強化と充実 ホームページの更新と SNS による情報発信を開始した。	・県の仕様変更に伴い、ホームページを刷新した。 ・公式インスタグラムを開設し、SNS による情報発信をこまめに行った。次年度に向けて、生徒による記事の作成なども含め、持続可能な体制の確立とルールの徹底が重要である。
７年度	総合的な探究の時間の組織的な取り組み 行きたい学校づくり推進事業の活用	・昨年度完成した３年間の指導計画に沿って「自己探究」「地域探究」「未来探究」の３本柱で探究活動を進める。 ・学務部に探究担当を置き、探究コーディネーターとして学年間や地域等との連携を進める。 ・県の事業を活用し、学校間の連携を深める。 ・キャリアパスポートを活用した生徒による自己評価を行う。
	進路指導体制の充実と検討 補講の変更と自立した学習者の育成 特進クラスの在り方検討	・昨年度補講の目的を整理し、進学補講の年間実施数を削減した。また生徒が主体的に取り組む「学習会」を実施予定。生徒に時間を返し「自立した学習者」の育成を目指す。 ・３年生の進路実現に向けて、学校全体でバックアップする体制を構築する。 ・希望進路に応じた個別指導は継続して全教員で対応する。 ・本校の特進クラスの在り方について、全教員から意見を募りその方向性を検討する。
	広報業務の強化と充実	・総務部にホームページ担当とインスタグラム担当を置く。 ・担当を中心に、職員研修や計画的な記事の作成を行い、ホームページの充実を図る。 ・インスタグラムは管理職の承認システムを工夫し、即時性を高める。 ・写真部や各部の部員など生徒が撮影した写真を使うことで、中学生の関心を引く内容を工夫する。 ・撮影した画像の扱いについて、再度ルールを確認し服務規律の徹底を図る。

5　教職員について

（1）６年度異動状況　　（単位：人）

職名／区分	本務職員													臨時・会計年度任用職員							合計
	教育職員							行政職員					本務計							会計年度任用計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任	主事	小計		教諭（臨）	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	部活動指導員		
転出	1		1	4			6						6								6
退職				1			1	1				1	2	1	1	1	1		1	5	7
再任用（退職）				1			1						1								1
転入	1		1	3			5	1				1	6								6
新任				2			2						2		1	1	1	1	1	5	7
再任用（新任）				2			2						2								2
役職定年							0						0								0
差引増減	0		0	1			1	0				0	1	△1	0	0	0	1	0	0	1

（2）現員数　　（令和７年５月 31 日現在）（単位：人）

職名／区分	本務職員												臨時・会計年度任用職員							合計
	教育職員							行政職員				本務計							会計年度任用計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主事	小計		教諭（臨）	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	部活動指導員		
人数	1	1	1	28	1	1	33	1	1	1	3	36	0	1	10	1	3	1	16	52

（3）健康管理について

	令和６年度	令和７年度
取組と成果及び課題	・生活習慣病健診、人間ドック、指定年齢健診の確実な実施と有所見者への早期受診を勧め、全員受診した。 ・健康管理医による職員の検診結果の点検と事後措置に関する指導及び個別健康相談を実施した。 ・学校職員衛生委員会を毎月開催し、職場環境の改善、健康管理のための研修の企画を行った。 ・生活部及び養護教諭から、職員の健康づくりのための情報提供を行った。 ・ストレスチェック検査の確実な受検を呼びかけ、全員受検した。 ・毎月 80 時間を超えた職員へ自己診断チェ	・生活習慣病健診、人間ドック、指定年齢健診の確実な実施と有所見者への早期受診を勧める。 ・健康管理医による職員の検診結果の点検と事後措置に関する指導及び個別健康相談を実施する。 ・学校職員衛生委員会を毎月開催し、職場環境の改善、健康管理のための研修の企画を行う。 ・生活部及び養護教諭から、職員の健康づくりのための情報提供を行う。 ・ストレスチェック検査の確実な受検を呼びかける。 ・多忙化解消に向けた業務改善の継続、特

	ックリストを実施し、健康管理医へ報告した。同時に管理職による声掛けも行っているが、該当教員の中に健康状況に不安を感じている者はおらず、面接指導希望者はなかった。「部活動指導方針」の実効化が必要である。	に部活動に関しては統廃合に向けた検討を始める。合わせて「部活動指導方針」を意識した活動を呼びかける。 ・職員の多忙化解消に向け、業務の見える化と仕事の効率化を図る。また、健康管理等について、管理職から随時声かけを行い、意識改革を推進する。

（４）教職員の研修について

	令和６年度	令和７年度
目的	・学習評価に基づいた授業改善 ・ICT を活用した学習指導 ・信頼される教師の育成	・「５つの力」を発揮する授業研究 ・自立した学習者の育成 ・信頼される教師の育成
研修内容及び成果	【学習評価に基づいた授業改善】 「評価の質の向上を通して授業改善を図る」をテーマに校内研修を実施した。定期訪問では、講義を通して指導と評価の一体化について理解を深め、教科毎に分かれたグループ協議では、３観点の中でも評価が難しい「主体的に学習に取り組む態度」について具体例を元に話し合いを行った。 【ICT を活用した学習指導】 授業における一人一台端末の活用も進んでいるため、「生成 AI を活用した学習指導」について校内研修を行い、授業活用の可能性を探ることができた。 【５つの力の設定】 育てたい生徒像について、全教員でグループワークを実施した。それをもとに、ミッション・ポリシーを踏まえた「宮西５つの力」を設定した。 【信頼される教師の育成】 職員会議毎のコンプライアンス研修を実施した。外部の研修に参加した教員による伝達講習や、学年代表による「私のコンプライアンス」など、研修方法を工夫し教職員同士が学び合う機会とすることができた。	【５つの力を発揮する授業研究】 ・「５つの力の発揮」を評価の観点に、主体的・対話的で深い学びを実現する。 ・今年度中に６つの教科で研究授業を実施し、県総合教育センター指導主事の指導を受ける。 ・全教員が「解決したい課題や問い」を中心に据えた授業構想を意識し、授業に取り組む。 ・各学期末にアセスメントアンケートを実施し成果と課題を確認する。 【自立した学習者の育成】 ・外部講師による講演とワークを実施する。 ・自己調整学習の理論を踏まえ、「自律的な学習者を育てる授業デザイン」を学び授業改善に役立てる。 ・本校の現状と課題について話し合うグループワークを実施し、本校の在り方の視点から授業改善につなげる。 【信頼される教師の育成】 職員会議後のコンプライアンス研修を継続。生徒の実態に合わせた研修を工夫する。
課題	いずれの研修も、各自の理解を深める効果があったが、継続することで定着を図っていく必要がある。	

6　防災対策について

<table>
<tr><th></th><th>令和６年度</th><th>令和７年度</th></tr>
<tr><td>目的</td><td>・校内の防災体制を見直した。
・生徒、教職員、保護者の防災意識を高めた。</td><td></td></tr>
<tr><td>取組内容及び成果</td><td>・消防計画、危機管理マニュアル、防災総合計画及び生徒防災カードを更新した。
・生徒防災カード（クラス別、地区別）を更新した。生徒防災カードには引き取りの際の情報を精選して作成した。
・４月 18 日に防災倉庫の点検を行った。
・防災、避難訓練を２回実施し、生徒の防災対応能力を高めた。
・年２回の防災、避難訓練を計画（第１回は４月 18 日に実施、第２回は９月２日に実施した。
<table>
<tr><th>月　日</th><th>訓練内容</th></tr>
<tr><td>４月 18 日</td><td>大規模地震発生を想定した避難訓練</td></tr>
<tr><td>９月２日</td><td>大規模地震発生を想定した避難訓練</td></tr>
</table>
・防災教育推進のための連絡会議を８月 21 日に開催し、地域との連携を強化すると共に避難所となる校内の情報を地域の代表者に提供した。</td><td>・消防計画、危機管理マニュアル、防災総合計画の更新
・生徒防災カード（クラス別、地区別）の新規作成
・４月 28 日、防災倉庫の点検
・年２回の防災、避難訓練を計画（第１回は４月 17 日に実施、第２回は９月１日を予定）
・８月 20 日に防災教育推進のための連絡協会議を開催し、富士宮市の防災担当、地域の防災担当を交えて、避難所運営や生徒の防災訓練参加について協議する予定である。
・危機管理マニュアル内の関係情報を共有する。
・職員、生徒の防災訓練、研修参加を促す。</td></tr>
<tr><td>課題</td><td>・富士山の噴火予知に伴う避難
・主体的な防災意識の育成</td><td>・富士山の噴火予知に伴う避難
・主体的な防災意識の育成</td></tr>
</table>

7　学校開放について

学校の施設設備を有効に活用し、地域に開かれた学校となるため、学校行事や施設修繕に支障のない範囲で積極的に開放している。

<table>
<tr><th colspan="2"></th><th colspan="2">令和６年度</th><th colspan="2">令和７年５月 31 日現在</th><th rowspan="2">利用者負担金
（電気料）</th></tr>
<tr><th>開放施設名</th><th>利用種目等</th><th>利用日数</th><th>利用者数</th><th>利用日数</th><th>利用者数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">体育館</td><td>バスケットボール</td><td>220 日</td><td>2,821 人</td><td>15 日</td><td>203 人</td><td rowspan="3">６年度 45,268 円
７年度　　０円</td></tr>
<tr><td>バレーボール
バドミントン</td><td>３日</td><td>14 人</td><td>０日</td><td>０人</td></tr>
<tr><td>運動場</td><td>野球</td><td>０日</td><td>０人</td><td>０日</td><td>０人</td></tr>
<tr><td colspan="2">合　　計</td><td>223 日</td><td>2,835 人</td><td>15 日</td><td>203 人</td><td></td></tr>
</table>

事務執行の根拠法令調

項　　目	根　拠　法　令
1　学校教育に関すること	教育基本法（第１条、第２条） 学校教育法（第１条、第２条、第３条、第 12 条、第 50 条、第 51 条、第 52 条、第 56 条、第 60 条）、学校教育法施行規則 学校保健安全法（第５条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第９条、第 11 条）、理科教育振興法施行令
2　学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第 137 条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第 33 条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第 21 条、第 22 条、第 24 条） 学校保健安全法（第 15 条、第 27 条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 学校図書館法（第３条、第４条、第５条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 静岡県教育委員会処務規程 いじめ防止対策推進法（第８条） 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例、静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律、高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令、高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等修学支援事業費補助金（奨学のための給付金）交付要綱、静岡県高等学校等奨学給付金事務処理要綱 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県情報公開条例、静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第 16 条） 社会教育法（第 43 条、第 44 条、第 45 条、第 47 条）

学校施設の概要

1　面積及び所有区分

（令和７年５月31日現在）

区分		面積 ㎡	所有内訳 県有 ㎡	国有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民有 ㎡	摘要
学校敷地		46,183.84	46,183.84					
内訳	校舎敷地	16,523.01	16,523.01					
	運動場敷地	23,451.62	23,451.62					
	その他の敷地	6,209.21	6,209.21					
校舎	建	3,459.84	3,459.84					
	延	9,286.51	9,286.51					
体育館	建	1,318.84	1,318.84					
	延	2,699.81	2,699.81					
その他の建物	建	1,310.77	891.01			419.76		
	延	1,945.17	1,525.41			419.76		
生活館	建	291.87	291.87					
	延	888.02	888.02					
プール		400.00	400.00					25m×16m ９コース

在 籍 生 徒 調

（令和７年５月31日現在）

学年	学科別 区　分		普　　通　　科			
			定　員	男　子	女　子	計
１年	入　学　者		１６０	７３	８４	１５７
		増　加				
		減　少				
	現　　在			７３	８４	１５７
２年	入　学　者		１６０	６４	８４	１４８
		増　加				
		減　少		１	１	２
	２年時当初			６３	８３	１４６
		増　加			（１）	（１）
		減　少				
	現　　在			６３	８４	１４７
３年	入　学　者		１６０	７３	８６	１５９
		増　加				
		減　少		３	２	５
	２年時当初			７０	８４	１５４
		増　加				
		減　少			（１）	（１）
	３年時当初			７０	８３	１５３
		増　加				
		減　少				
	現　　在			７０	８３	１５３
合　　計			４８０	２０６	２５１	４５７

入学志願者及び入学者数調

区　　分			３年度	４年度	５年度	６年度	７年度
学　　科　　別			普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員　(A)			160	160	160	160	160
募集者数　(B)			160	160	160	160	160
	志願者数	男	101（ ）	71（ ）	75（ ）	63（1）	73（ ）
		女	77（ ）	103（ ）	86（ ）	84（ ）	85（ ）
		計(C)	178（ ）	174（ ）	161（ ）	147（1）	158（ ）
	受検者数	男	96（ ）	69（ ）	73（ ）	63（1）	73（ ）
		女	76（ ）	102（ ）	86（ ）	84（ ）	84（ ）
		計(D)	172（ ）	171（ ）	159（ ）	147（1）	157（ ）
	合格者数	男	91（ ）	67（ ）	73（ ）	63（1）	73（ ）
		女	73（ ）	98（ ）	86（ ）	84（ ）	84（ ）
		計(E)	164（ ）	165（ ）	159（ ）	147（1）	157（ ）
志願倍率　(C)/(B)			1.11	1.09	1.01	0.92	0.99
受検倍率　(D)/(B)			1.08	1.07	0.99	0.92	0.98
入学者数		男	91	67	73	64	73
		女	73	98	86	84	84
		計(F)	164	165	159	148	157
充足率　(F)/(A)			1.03	1.03	0.99	0.93	0.98

卒業生の動向調

（高等学校用）

1　進路状況

学　科　別			普　通　科		
年　　度			令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒業生徒数			189 人	163 人	159 人
内訳	（進学志望者）		（ 184 ）	（ 160 ）	（ 158 ）
	進学者	大学・短大	153	133	135
		専修･各種学校等	31	27	23
		小　　計	184	160	158
	就職者		4	3	1
	自営者		0	0	0
	進学準備者		0	0	0
	その他		1	0	0
合　　計			189	163	159

2　求人状況（全日制のみ）

区　　分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	4	3	2
求人数	153	256	396
求人倍率	38.25倍	85.3倍	198倍

3　資格取得状況　　（令和6年度）

学　科　別		普通科
卒業生徒数		159　人
資格の取得状況（種類別）	実用英語検定準1級	1
	実用英語検定　2級	64
	実用英語検定準2級	92
合　　計		157

生徒の状況

1　生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地　（令和７年５月31日現在）（単位：人）

市町名	富士宮市	富士市	静岡市	沼津市	裾野市	山梨県	その他	合　計
生徒数	355	91	1	2	1	6	1	457
構成比％	77.68	19.91	0.22	0.44	0.22	1.31	0.22	100％

(2) 通学方法　（令和７年５月31日現在）（単位：人）

区　分	徒歩	自転車	バス	電車			その他	合　計
生徒数	15	303	21	58			60	457
構成比％	3.28	66.30	4.60	12.69			13.13	100％

2　部（クラブ）の加入状況

（令和７年５月31日現在）（単位：人）

区　　分		運動部	文化部	未加入者	計
部(ｸﾗﾌﾞ) 数		10	9		19
男子	１　年	59	14	0	73
	２　年	45	16	2	63
	３　年	39	31	0	70
	計　（Ａ）	143	61	2	206
	構成比	69.42	29.61	0.97	100.00
女子	１　年	30	54	0	84
	２　年	33	43	8	84
	３　年	27	55	1	83
	計　（Ｂ）	90	152	9	251
	構成比	35.86	60.56	3.58	100.00
合計	（Ａ＋Ｂ）	233	213	11	457
	構成比	50.98	46.61	2.41	100.00

授　業　料　収　納

（全日制）

期別	月別	調定の状況								収納の	
		１年		２年		３年		計		納期内収納額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率
		人	円	人	円	人	円	人	円	円	%
一期	4										
	5										
	6										
	7	30	891,000	40	1,188,000	36	1,069,200	106	3,148,200	2,999,700	95.3
	8										
	計	30	891,000	40	1,188,000	36	1,069,200	106	3,148,200	2,999,700	95.3
二期	7										
	8										
	9										
	10	33 1	1,633,500 49,500	29	1,435,500	35 1 △ 1	1,732,500 49,500 △ 49,500	98	4,851,000	4,702,500	96.9
	11										
	計	34	1,683,000	29	1,435,500	35	1,732,500	98	4,851,000	4,702,500	96.9
三期	12										
	1	33	1,306,800	29	1,148,400	35	1,386,000	97	3,841,200	3,762,000	97.9
	2										
	3										
	計	33	1,306,800	29	1,148,400	35	1,386,000	97	3,841,200	3,762,000	97.9
合計		97	3,880,800	98	3,771,900	106	4,187,700	301	11,840,400	11,464,200	96.8

状　況　調

（令和6年度）

状況		異動者等の状況
納期後 収納額	収　入 未済額	
円	円	A．期首収納権利発生額＝3,148,200円 （106人×9,900円×３月）
		B．収納権利増減（▲）額＝0円
		〈内訳〉
0	148,500	
148,500	0	
148,500	0	C．収納必要額A（±）B＝3,148,200円
		A．期首収納権利発生額＝4,851,000円 （98人×9,900円×５月）
		B．収納権利増減（▲）額＝0円
0	148,500	〈内訳〉
148,500	0	
148,500	0	C．収納必要額A（±）B＝4,851,000円
		A．期首収納権利発生額＝3,841,200円 （97人×9,900円×4月）
0	79,200	
79,200	0	B．収納権利増減（▲）額＝0円 〈内訳〉
79,200	0	C．収納必要額A（±）B＝3,841,200円
376,200	0	D．収納必要額　　＝11,840,400円

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区　　分	令和６年度	令和７年度 （令和７年５月31日　現在）
	件　　数	件　　数
入学検定料	157	0

現　金　出　納　調

（令和６年度）

区　分	受　入　額			払 出 額	残　高	出納員領収書発行総額及び枚　数	現金払込調書兼領収書総額及び枚数
	越　高	受　高	計				
教育手数料	円 0	円 863,500	円 863,500	円 863,500	円 0	円 863,500 192 枚	円 863,500 43 枚
雑入	0	50	50	50	0	50 1 枚	50 1 枚
計	0	863,550	863,550	863,550	0	863,550 193 枚	863,500 44 枚

現　金　出　納　調

（令和７年度）
（令和７年５月31日現在）

区　分	受　入　額			払 出 額	残　高	出納員領収書発行総額及び枚　数	現金払込調書兼領収書総額及び枚数
	越　高	受　高	計				
教育手数料	円 0	円 894,550	円 894,550	円 894,550	円 0	円 894,550 180　枚	円 894,550 25　枚
計	0	894,550	894,550	894,550	0	894,550 180　枚	894,550 25　枚

預　　金　　調

（令和７年５月 31 日現在）

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘　　要
富士伊豆農業協同組合 富士宮富丘支店	無利息型 普通預金	0161763	静岡県立富士宮西高等学校 校長　鈴木　邦浩	0	給与
富士伊豆農業協同組合 富士宮富丘支店	無利息型 普通預金	0162283	静岡県立富士宮西高等学校 校長　鈴木　邦浩	0	公共料金口座振替
残　高　合　計				0	

歳 入 歳 出 外 現 金 調

（令和６年度）

区　　分	越　高	受　高	払　高	残　高	摘　要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 371, 530	円 371, 530	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	24, 746	24, 746	0	
所得税	28, 332	347, 763	358, 931	17, 164	
県市町村民税	12, 100	49, 200	61, 300	0	
保証金	231, 610	0	129, 310	102, 300	
計	272, 042	793, 239	945, 817	119, 464	

歳 入 歳 出 外 現 金 調

（令和７年度）
（令和７年５月 31 日現在）

区　　分	越　高	受　高	払　高	残　高	摘　要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 43, 206	円 43, 206	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	3, 414	3, 414	0	
所得税	17, 164	57, 534	62, 902	11, 796	
保証金	102, 300	0	0	102, 300	
計	119, 464	104, 154	109, 522	114, 096	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額　（円）		
					5年度	6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	くらし・環境費	環境費	環境政策費		44,000	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		1,362,679	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		369,655	
計					1,636,280	1,776,334	0
(14) 工　事 請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		13,724,700	
計					5,533,000	13,724,700	0
(16) 公有財産 購入費							
計					0	0	0
(17) 備　品 購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		317,020	
計					814,000	317,020	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		42,869,000	
計					43,393,700	42,869,000	0
(21) 補償、補填 及び賠償 金							
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

（令和7年5月31日現在）

節名	会計	款	項	目	執行済額（円）	うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	85,567	0
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	33,993	0
計					119,560	0
(14) 工事請負費						
計					0	0
(16) 公有財産購入費						
計					0	0
(17) 備品購入費						
計					0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	17,200	0
計					17,200	0
(21) 補償、補填及び賠償金						
計					0	0

委託料に関する調

（令和６年度）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	契約金額 変更増減額	契約金額 計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
1	(事務関係) 浄化槽 保守点検 業務	有限会社 石川 メンテナンス	円 622,600	円 590,700	円 0	円 590,700	随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.30 6.6.28 6.7.30 6.8.30 6.9.30 6.10.30 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.28 7.4.28 小計	円 52,250 53,900 47,850 58,300 37,950 47,850 58,300 44,000 44,000 58,300 44,000 44,000 590,700	富士・富士宮地区3校分の汚水処理施設（合併浄化槽）の維持管理	随契1号 （少額） 富岳館高校 富士特別支援学校
2	可燃物 収集運搬 処分業務	株式会社 静岡総合 処理 センター	1,282,020 （単価金額） 収集・運搬料 1回あたり(税抜) 4,800円 処分手数料 1kgあたり(税込) 15.0円	1,164,100	0	1,164,100 （単価金額） 収集・運搬料 1回あたり(税抜) 4,000円 処分手数料 1kgあたり(税込) 15.0円	指名	6.4.8 ～ 7.3.31	6.5.30 6.6.28 6.7.30 6.8.30 6.9.30 6.10.30 6.11.29 6.12.26 7.1.31 7.2.28 7.3.28 7.4.28 小計	59,340 83,415 91,845 91,490 69,180 91,030 93,855 89,775 107,535 93,505 71,440 68,720 1,011,130	市内5校分の可燃物収集運搬処分業務	単価契約 富士宮北高校 富士宮東高校 富岳館高校 富士特別支援学校富士宮分校
3	産業 廃棄物 収集運搬 処分業務	株式会社 ホクセイ	35,684	35,684	4,620	40,304	随契	6.9.17 ～ 7.2.28	6.11.25	40,304	産業廃棄物収集運搬処分業務	随契1号 （少額）
4	産業 廃棄物 収集運搬 処分業務	株式会社 クリーン コントロール サービス	90,200	90,200	0	90,200	随契	6.12.2 ～ 7.3.21	7.1.23	90,200	産業廃棄物収集運搬処分業務	随契1号 （少額）
5	PCB含有 調査業務	加藤電気 管理事務所 加藤一彦	44,000	44,000	0	44,000	随契	7.2.4 ～ 7.3.21	7.3.11	44,000	PCB含有 調査業務	随契1号 （少額）
	事務関係 計	5件	2,074,504	1,924,684	4,620	1,929,304				1,776,334		
参考 1	警備業務	セコム 株式会社		5,808,000	391,710	6,199,710		元.10.1 ～ 6.9.30			警報機器による校内警備	富士高校
参考 2	警備業務	セコム 株式会社		17,424,000	0	17,424,000		6.10.1 ～ 11.9.30			警報機器による校内警備	富士高校
参考 3	自家用電 気工作物 保安管理 業務	加藤電気 管理事務所 加藤一彦		1,482,800	156,200	1,639,000		6.4.1 ～ 7.3.31			校内電気工作物の保安管理	富岳館高校
参考 4	消防用 設備等 保守点検 業務	サンコー 防災 株式会社		13,376,000	4,400	13,380,400		6.4.1 ～ 7.3.31			火災報知器等消火用設備の保守点検	富士宮東高校
参考 5	プール 浄化装置 保守点検 業務	有限会社 石川 メンテナンス		207,900	0	207,900		6.4.12 ～ 6.10.31			プール浄化装置の保守点検	富士東高校
参考 6	ガスヒートポンプ 点検業務	株式会社 ユアーズ静 岡		1,279,300	0	1,279,300		6.6.3 ～ 6.8.26			ガスヒートポンプ点検業務	富士宮北高校
参考 7	建築基準 法第12条 に基づく定 期点検業 務	株式会社 平柳建築 設計事務所		3,263,700	0	3,263,700		6.8.15 ～ 7.2.28			建築基準法第12条に基づく定期点検業務	富士東高校
	計	6件		42,841,700	552,310	43,394,010						

委託料に関する調

（令和7年度）
（令和7年5月31日現在）

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額 当初額	契約金額 変更増減額	契約金額 計	契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
1	(事務関係) 浄化槽保守点検業務	有限会社石川メンテナンス	円 651,200	円 618,200	円 0	円 618,200	随契	7.4.1 ～ 8.3.31	7.5.30 小計	円 61,050 61,050	富士・富士宮地区3校分の汚水処理施設(合併浄化槽)の維持管理	随契1号（少額） 富岳館高校 富士特別支援学校
2	可燃物収集運搬処分業務	有限会社東亜美装	1,491,000 (単価金額) 収集・運搬料 1回あたり(税抜) 9,600円 処分手数料 1kgあたり(税込) 15.0円	869,500	0	869,500 (単価金額) 収集・運搬料 1回あたり(税抜) 3,950円 処分手数料 1kgあたり(税込) 15.0円	指名	7.4.8 ～ 8.3.31	7.5.30 小計	58,510 58,510	市内5校分の可燃物収集運搬処分業務	単価契約 富士宮北高校 富士宮東高校 富岳館高校 富士特別支援学校富士宮分校
	事務関係計	2件	2,142,200	1,487,700	0	1,487,700				119,560		
参考1	警備業務	セコム株式会社		17,424,000	0	17,424,000		6.10.1 ～ 11.9.30			警報機器による校内警備	富士高校
参考2	自家用電気工作物保安管理業務	加藤電気管理事務所加藤一彦		1,916,200	0	1,916,200		7.4.1 ～ 8.3.31			校内電気工作物の保安管理	富岳館高校
参考3	消防用設備等保守点検業務	サンコー防災株式会社		13,246,200	0	13,246,200		7.4.1 ～ 8.3.31			火災報知器等消火用設備の保守点検	富士宮東高校
参考4	プール浄化装置保守点検業務	有限会社石川メンテナンス		227,700	0	227,700		7.4.15 ～ 7.10.31			プール浄化装置の保守点検	富士東高校
参考5	ガスヒートポンプ点検業務	株式会社ユアーズ静岡		1,320,000	0	1,320,000		7.5.22 ～ 7.8.29			ガスヒートポンプ点検業務	富士宮北高校
	計	5件		34,134,100	0	34,134,100						

負担金支出調

（令和６年度）

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催要項による	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	円 2,000	6.7.5
2	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第１期分355人分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	10,543,500	振替日 6.7.31
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第２期分363人分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	17,928,900	振替日 6.10.31
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（遡及認定者１人分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	6.12.5
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（第３期分362人分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	14,335,200	振替日 7.1.31
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料（振替漏れ１名分）	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	9,900	振替日 7.2.17
計		６　件			42,869,000	

負担金支出調

（令和７年度）

（令和７年５月31日現在）

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項による	全国高等学校長協会総会・研究協議会	円 4,000	7.4.30
2	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講料	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	受講通知による	特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講	13,200	7.5.7
計		２　件			17,200	

建　　築　　工　　事

整理番号	予算科目	工　事　名	工事箇所	当　初設計金額	契　約　金　額			契約締結方法
					当初額	変更増減額	計	
1	教育管理費	令和6年度富士宮西高等学校キュービクル変圧器他更新工事	富士宮市淀師1550地内	円 6,985,000	円 6,380,000	円 0	円 6,380,000	指名
2	教育管理費	令和6年度富士宮西高等学校南棟図書室空調更新工事	富士宮市淀師1550地内	7,414,000	7,344,700	0	7,344,700	指名
		合　計	件 2	14,399,000	13,724,700	0	13,724,700	

令和7年度　　該当工事なし

調

（令和6年度）

受　注　者	着　　手 完成(予定) 年　月　日	支　出　済　額	工　事　概　要	公有財産台帳	摘　　要
株式会社マコト電機	着手 6.10.28 完成 7.2.28	円 6,380,000	キュービクル変圧器等の機器の更新	－	令達日 6.10.2 支払日 7.3.31
株式会社アオノ	着手 6.12.5 完成 7.3.21	7,344,700	図書室空調設備更新	済	令達日 6.11.11 支払日 7.4.22
		13,724,700			

公有財産調

（令和６年度）

区　分	令和６年３月31日現在		増		減		令和７年３月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 2,015,376		千円 8,190		千円 52,541		千円 1,971,025	
土　地	46,183.84	1,717,379					46,183.84	1,717,379	
立木竹	52	487					52	487	
建　物	5,961.56 14,399.75	255,733				47,529	5,961.56 14,399.75	208,204	
工作物	63	41,777	2	8,190	1	5,012	64	44,955	
普通財産		0		0		0		0	
公有財産に準ずるもの		313						313	
電　話加入権	4	313					4	313	

令和７年度中増減なし

借地借家等調

（令和７年５月31日現在）

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏　名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	敷地	富士宮市 宮原1-22	宅地	宅地	0.14	円	円 無償	6. 3. 1 ～ 9. 2.28	富士宮 市長	学校案内板
	計					0.14					
2	建物	倉庫建	富士宮市 淀師1550	鉄 骨　平屋建 ﾌﾞﾛｯｸ　平屋建		68.90 68.90		無償	7. 4. 1 ～ 8. 3.31	富士宮西 高校 後援会長	弓道部室 野球部室
3	〃	雑屋建	〃	鉄 骨　平屋建		39.80 39.80		無償	7. 4. 1 ～ 8. 3.31	〃	運動観覧用 スタンド
4	〃	倉庫建	富士宮市 淀師1555-4	〃		311.06 311.06		無償	7. 4. 1 ～ 8. 3.31	〃	雨天ﾋﾟｯﾁﾝｸﾞ 練習場
	計					419.76 419.76					
5	工作 物	冷暖房 装置	富士宮市 淀師1550			7個		1,659,300	3. 7. 1 ～ 16. 6.30	三井住友 ファイナンス＆リース 株式会社	普通教室 空調
6	〃	雑工作物	〃			1個		無償	7. 4. 1 ～ 8. 3.31	富士宮西 高校 後援会長	弓道場矢止

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏　名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
7	工作物	雑工作物	富士宮市淀師1550			1個	円	円 無償	7. 4. 1 ～ 8. 3.31	富士宮西高校後援会長	クライミングウォール
8	〃	水道	〃			1個		無償	7. 4. 1 ～ 8. 3.31	〃	グラウンド水飲場
9	〃	雑工作物	〃			1個		無償	7. 4. 1 ～ 8. 3.31	〃	野球部投球練習場防球ネット
10	〃	照明装置	〃			1個		無償	7. 4. 1 ～ 8. 3.31	〃	テニスコート夜間照明
11	〃	照明装置	〃			1個		無償	7. 4. 1 ～ 8. 3.31	〃	ソフトボール部用夜間照明
12	〃	雑工作物	〃			1個		無償	7. 4. 1 ～ 8. 3.31	富士宮西高校PTA会長	部活動等支援掲示板
13	〃	冷暖房装置	〃			2個		無償	7. 4. 1 ～ 8. 3.31	〃	生活館1階研修室・3階生徒宿泊室冷暖房装置
14	〃	冷暖房装置	〃			1,272㎡		4,529,819	6. 7. 1 ～ 19. 6.30	NTT・TCリース株式会社静岡支店	特別教室空調
	計					16個 1,272㎡		6,189,119			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

（令和７年度）

（令和７年５月31日現在）

区分	事業名又は契　約　名	内　　容	契約額						
				令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
長期継続契約	高速カラー印刷機賃貸借契約	職員室高速カラー印刷機１台（契約日）令和4年12月28日	円 3,300,000	円 55,000	円 660,000	円 660,000	円 660,000	円 660,000	円 605,000

行政財産貸付・使用許可調

（令和7年5月31日現在）

整理番号	区分	種別	所在地	地目 台帳	地目 現況	数量又は面積	貸付料又は使用料 単価	貸付料又は使用料 年額	貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
1	土地	学校敷地	富士宮市淀師1550	学校用地	学校用地	㎡ 0.21		円 免除	3.4.1 ～ 8.3.31	富士宮市長	避難場所標示板
2	〃	〃	〃	〃	〃	0.42		〃	7.4.1 ～ 12.3.31	交通安全協会淀師分会長	交通安全標示板
3	〃	〃	〃	〃	〃	0.33		〃	7.4.1 ～ 12.3.31	交通安全協会宮原分会長	カーブミラー
4	〃	〃	〃	〃	〃	5.53 (地下埋設物) 8m		〃	7.4.1 ～ 12.3.31	富士宮市長	非常用給水タンク
5	〃	〃	〃	〃	〃	9.96		〃	7.4.1 ～ 12.3.31	〃	防災倉庫
6	〃	〃	〃	〃	〃	2.53		〃	7.4.1 ～ 12.3.31	富士宮西高校ＰＴＡ会長	石像彫刻「アルマ」
7	〃	〃	〃	〃	〃	10.12		〃	5.4.1 ～ 8.3.31	富士宮西高校ＰＴＡ会長	PTA雇用職員駐車場・執務場所
	建物	事務所建	〃	東昇降棟 ＲＣ２階建		3.30		〃			
8	土地	学校敷地	〃	学校用地	学校用地	㎡ 10.12		〃	7.4.1 ～ 10.3.31	富士宮西高校ＰＴＡ会長	PTA雇用職員駐車場・執務場所
	建物	事務所建	〃	南棟 ＲＣ ３階建		3.30		〃			
9	土地	学校敷地	〃	学校用地	学校用地	10.12		〃	5.4.1 ～ 8.3.31	〃	後援会雇用職員駐車場・執務場所
	建物	事務所建	〃	南棟 ＲＣ ３階建		3.30		〃			
10	土地	学校敷地	〃	学校用地	学校用地	6.00		613,800	6.4.1 ～ 9.3.31	コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)ベンディング中部日本地区統括部ベンディング静岡支店長	飲料用自動販売機
	建物	事務所建	〃	東昇降棟 ＲＣ ２階建		3.00		409,200			
11	建物	事務所建	〃	南棟 ＲＣ ３階建		0.38		免除	4.4.1 ～ 9.3.31	富士宮市長	防災用地域防災無線
12	〃	〃	〃	〃		0.01		〃	4.4.1 ～ 9.3.31	〃	防災用デジタル簡易無線
13	〃	〃	〃	〃		0.03		〃	3.4.1 ～ 8.3.31	〃	同報無線戸別受信機
14	〃	〃	〃	東昇降棟 ＲＣ ２階建		1.00		2,780	7.4.1 ～ 8.3.31	富士宮西高校後援会長	食品用自動販売機
				西昇降棟 ＲＣ ２階建		1.00					
15	〃	〃	〃	東昇降棟 ＲＣ ２階建		2.00		免除	6.4.1 ～ 9.3.31	富士宮西高校ＰＴＡ会長	パン販売所
合計								1,025,780			

主要備品調

（令和７年５月31日現在）

整理番号	区分 大・中	区分 小	品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
1	2- 1	ﾊﾟｰｿﾅﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾀ（一式）	ＩＣＴ環境機器一式	毎日（年間260日）情報授業用	令和 2年 1月	円 6,209,918
2	3- 3	プロジェクター	プロジェクター(一式)	毎日(年間260日)授業用	令和 3年 3月	3,506,250
3	1- 4	移動書庫	移動書庫 ６台　2830×2284	毎日（年間260日）蔵書保管用	平成 3年 3月	2,111,088
4	3- 3	その他の視覚用再生用機器	視聴覚ＡＶ設備 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｺﾝﾄﾛｰﾗほか	週3日(年間140日)授業用	平成15年 3月	1,974,000
5	2- 1	ﾊﾟｰｿﾅﾙｺﾝﾋﾟｭｰﾀ(一式)	タブレット端末(一式)	毎日(年間260日)授業用	令和 3年 3月	1,904,109
6	6- 6	ボイラー	無圧式温水機 給水加圧ユニットNFH3	週2日（年間90日）家庭科授業・家庭部用	平成30年 3月	1,458,000
7	2- 2	放送装置	放送装置 ﾅｼｮﾅﾙ　WL-726	毎日（年間260日）校内放送用	平成27年 2月	1,291,896
8	2- 1	その他の情報処理機器	パソコンソフト SKYMENU Pro	毎日（年間260日）情報授業用	平成26年 2月	945,000
9	1- 4	移動書庫	移動書庫 ７台　1805×2260	毎日（年間260日）消耗品保管用	平成元年 9月	884,770
10	10-12	室外競技用器具	ボルダリング専用マット　6329×4113 厚300	毎日（年間260日）ﾜﾝﾀﾞｰﾌｫｰｹﾞﾙ部用	平成28年 3月	764,640
11	10- 7	鍵盤楽器	グランドピアノ ｶﾜｲ　GS-30	週2日（年間90日）音楽授業用	昭和56年 3月	680,000
12	10- 7	管楽器	ファゴット ﾓｰｽﾏﾝ	毎日（年間260日）吹奏楽部用	平成16年 3月	573,212
13	3- 3	プロジェクター	プロジェクター ｴﾌﾟｿﾝ　EB-G5750WU	週3日(年間140日)授業用	平成25年 3月	571,200
14	3- 2	顕微鏡	顕微鏡 マクロ30	年15日 生物授業用	平成 6年 3月	550,000
15	10- 7	鍵盤楽器	グランドピアノ カワイGS-2D	年５回 行事用	昭和57年 3月	540,000
16	10-12	サッカー用器具	サッカーゴール アルミ製　ネット付	毎日（年間260日）体育授業用	平成 8年 3月	540,000
17	2- 1	その他の情報処理機器	校内LANサーバー一式	毎日（年間365日）管理用	平成29年 3月	529,308
18	1-99	その他の庁用器具	時計 防水性　1200×1200	毎日（年間365日）管理用	昭和58年 2月	500,000
19	3- 3	プリンター	大型プリンター CANON　iPF8000s	月２回 進路・管理用	平成22年 2月	442,050
20	1- 7	その他の書類整理機器	丁合機 TC3100　10段	週2日（年間90日）管理用	平成18年10月	430,500

職　　員　　調

（令和7年5月31日現在）

整理番号	職　名	氏　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　要
1	校 長	鈴 木　邦 浩		□□□	年　月 □．□	□□□　□□□□
2	副校長	熊ヶ谷　智 子		□□□	□．□	□□□ □□□□□□□□□
3	教 頭	内 田　さち子		□□□	□．□	□□□
4	事務長	菅 野　恵 一		□□□	□．□	□□□□□□
5	教 諭	青 木　照 明	数　学	□□□	□．□	□□□　□□□
6	〃	西 川　和 伸	数　学	□□□	□．□	□□□　□□□
7	〃	藤 原　貴 代	国　語	□□□	□．□	□□□　□□□
8	〃	渡 邉　成 彦	英　語	□□□	□．□	□□□　□□□
9	〃	古 殿　和 彦	保健体育	□□□	□．□	□□□
10	〃	山 田　恵 也	地歴公民	□□□	□．□	□□□
11	〃	林　和 秀	国　語	□□□	□．□	□□□
12	〃	天野　真奈美	英　語	□□□	□．□	□□□
13	〃	伊 東　和 彦	地歴公民	□□□	□．□	□□□
14	〃	石 井　敬 子	英　語	□□□	□．□	□□□
15	〃	西 島　信 弘	保健体育	□□□	□．□	□□□
16	〃	古 谷　誠 浩	保健体育	□□□	□．□	□□□
17	〃	船　津　孝	保健体育	□□□	□．□	□□□
18	〃	上 田　里 美	英　語	□□□	□．□	□□□
19	〃	石　川　壮	理　科	□□□	□．□	□□□
20	〃	黒 澤　和 美	理　科	□□□	□．□	□□□
21	〃	平野　沙知子	数　学	□□□	□．□	□□□
22	〃	志 田　祐 平	英　語	□□□	□．□	□□□
23	〃	望　月　光	理　科	□□□	□．□	□□□
24	〃	橋 下　秀 司	国　語	□□□	□．□	□□□
25	〃	加 藤　郁 美	国　語	□□□	□．□	□□□
26	〃	白 鳥　貴 大	数　学	□□□	□．□	□□□
27	〃	西 村　崚 太	数　学	□□□	□．□	□□□
28	〃	大 石　恒 平	地歴公民	□□□	□．□	□□□
29	〃	丸 山　海 斗	理　科	□□□	□．□	□□□
30	〃	関 野　陽 生	英　語	□□□	□．□	□□□

整理番号	職　名	氏　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　要
31	教 諭	米 山　優 梨	国　語	□□□	年　月 □．□	□□□
32	教 諭	菊 地　智 貴	地歴公民	□□□	□．□	□□□
33	養護教諭	菅 谷　八 恵	養　護	□□□	□．□	□□□
34	実習助手	永 田　琴 美	理　科	□□□	□．□	
35	主 査	奥 田　睦 美	庶　務	□□□	□．□	□□□□□□
36	主 任	秋 山　厚 我	管財・会計	□□□	□．□	□□□□□□
平 均 年 数					□．□	

整理番号	職　名	氏　名	事務分担	住　所	勤務年数	摘　要
1	非常勤講師	淺　羽　保　之	理　科	□□□	年　月 □．□	□□□
2	〃	天　野　久	書　道	□□□	□．□	□□□
3	〃	石川　美智子	音　楽	□□□	□．□	□□□
4	〃	池谷　しのぶ	家　庭	□□□	□．□	□□□
5	非常勤講師 部活動指導員	内　村　杏　輔	保健体育 部活動指導	□□□	□．□	□□□
6	非常勤講師	長　田　佳　代	美　術	□□□	□．□	□□□
7	〃	菊　池　孝　典	保健体育	□□□	□．□	□□□
8	〃	後　藤　美　里	情　報	□□□	□．□	□□□
9	〃	髙　橋　勝　典	地歴公民	□□□	□．□	□□□
10	〃	吉　田　みどり	書　道	□□□	□．□	□□□
11	非常勤労務職員	池　田　建　男	用　務	□□□	□．□	
12	〃	中　野　隆	用　務	□□□	□．□	
13	〃	山　田　雅　治	用　務	□□□	□．□	
14	非常勤嘱託員	小　林　身知子	就学支援金	□□□	□．□	
15	ＡＬＴ	カレン・アブード	英　語	□□□	□．□	
16	部活動指導員	佐　野　創　大	部活動指導	□□□	□．□	□□□□□□□□□

職員の年齢調

（令和7年5月31日現在）

年　齢	人員	摘　要
20歳未満	0　人	
20歳以上30歳未満	4	
30歳以上40歳未満	8	
40歳以上50歳未満	7	
50歳以上56歳未満	6	
56歳以上61歳未満	7	
61歳以上	4	再任用　4人
計	36	平均年齢　45.8　歳

健康管理

1　前年度受診状況

区　　分	内　　容
受 診 状 況	受診者数　35人 職 員 数　35
受　診　率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

（注）1　前年度末日現在在籍している職員について記載する。

2　受診率算定に当たっては、休職・特休中、育休・産休・妊娠中、治療中及び海外派遣中等の職員は、算定の対象から除く。

2　本年度在籍者の健康管理区分結果

健康管理区分			人数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	0人
B2		要経過観察	0人
C1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	0人
C2		要経過観察	0人
D1	平常の勤務でよい。	要治療	5(5)人
D2		要経過観察	21(21)人
D3		医療不要	8(8)人
区分者計			34(34)人
未区分者数			2人
合　計			36人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア　産休・育休　　人

イ　新規採用　　2人

ウ　自己都合による未受診　　人

エ　その他（　　）　　人

（注）1　健康管理区分結果は、調書調製日現在在籍している職員（様式第2号－2の記載対象者と同じ。）について記載する。

2　本年度の健康管理区分結果が出ていない職員については、前年度の結果を記載し、（　）書きで再掲する。

3　前年度に市町等へ派遣されていた職員等は、派遣先等の健康診断結果等に基づき、該当箇所に記載する。

4　本様式は別冊とする。

5　警察署は、「D3」と「区分者計」の間に「区分なし」を追加して記載する。